

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	有	電話	042(769)8242
担当部課名	環境保全部	みどり対策	課	
事務事業名	相模川ふれあい科学館特別展示等委託		事業コード	22120

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	水やみどりの保全と創造に努めます	事業開始年度
基本施策名	第1節	相模川の保全と魅力づくり	~63年度
施策名	第2施策	相模川の魅力づくり	

2 実施根拠及び関連法令等

相模川計画

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
昭和56年度に策定した「相模川計画」に基づき、相模川の自然に親しみ自然を守り育てる心を育み、市民文化の向上に寄与するため設置した「相模川ふれあい科学館」の特別展示の開催に係る経費		市民一般	
		対象数	不特定
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
春の特別展「世界のカメ大集合」(平成13年4月14日~5月13日)入館者数 12,765人 夏の特別展「海のピエロたち~サンゴ礁の愉快的仲間」(平成13年7月14日~9月2日)入館者数 14,291人 水辺のサマースクール(7月の延べ4日間)参加者数 88人 新年特別展「水の中のウマたち」(平成14年1月4日~31日)入館者数 2,819人		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	相模川計画第2次基本計画
計画年次	平成5年度~平成22年度		

4 評価指標

指標名			
指標式			
指標設定の意図			

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標			a	b		
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	6,334	6,721	6,740	7,185	7,248
	人員・時間数	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人	0.05人
	人件費	442	442	442	442	442
	その他経費					
	合計	6,776	7,163	7,182	7,627	7,690
特定財源						

6 個別評価

(1) 達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 =
	B : 一部達成していない(100%> 80%)	
	C : 達成していない (80%>)	
$\frac{a}{b} \times 100 =$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
理由 :	PR方法の工夫などにより来館者の増員が見込める余地があった。	
(2) 必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A : 適応している	理由 : 余暇の増大などによる多様な市民ニーズに合致した事業である。
	B : 一部適応していない	
	C : 適応していない	
(3) 経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 B ▼	A : 妥当である	理由 : 単純に採算を考えると、観覧料収入増に見合わない面がある。
	B : 一部妥当でない	
	C : 妥当でない	
(4) 事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 B ▼	A : 代替の可能性ない	理由 : 採算性の面から民間代替は困難である。
	B : 代替の可能性低い	
	C : 代替の可能性高い	
(5) 市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 : 通常の観覧料で観覧できるため。
	B : 一部満足できない	
	C : 満足できない	
(6) 有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A : 有効である	理由 : より多くの市民が来館する機会となる。
	B : 一部有効である	
	C : 有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 時流に合った話題性のある企画などにより、更なる集客は可能である。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 海洋生物などの生体水槽展示が中心となるため、コスト削減は困難であると思われる。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	ふれあい科学館は本市独特の施設であるが、博物館などの特別展や観察教室などは別途料金を徴収する傾向にあるので、本事業の性格や位置付けに関わる今後の検討課題である。
今後の進め方		説明	主にトップシーズンの集客を図るための事業であり、観客者数の減少傾向の中で継続する意義は大きい。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--